

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

# 猛暑もふっとばす子どもたち



夏休みの楽しみの中のひとつでもある夏祭りを行ないました。今年も2階の有限と3階の社福の子ども達が順番に店番、お客さんに分かれ交流をしました。

2018・夏

夏休みがはじまり子ども達が待ちに待ったプールが始まりました。プールに入るまでの間にペットボトルなどの廃材を使って水鉄砲などの手作りおもちゃを作りました。友達や職員と水を掛け合ったり、泳いだり潜ったりと、とても楽しんでいました。



〔2面につづく〕

夏祭り期間中のプールに入るまでの時間やプール後の時間を使って、子ども達と一緒に準備を進めていきました。お店の看板やフロア飾りの提灯を作ったり、お店で使う道具も一緒に作り本番に向けて張り切っていましたよ。



## みんなで楽しくセッション

実際、夏祭りがはじまると「いらっしやいませー！」と声を出し、呼び込みをしたり、チケットの受付をしたりと、しつかりと店番の役割をしてくれていました。スマートボールやガチャポン、ヨーヨー釣りや、うちわ屋さんなど、様々なお店があり、とても楽しんでもいました。

7月21日(木)生活介護ひらのにて、利用者さんのご家族によるピアノコンサートが開かれました。

歌うことや音楽を聴くことが好きな方が多いので、ひらのは外部から様々な方をお呼びし、コンサートを開いています。今回のピアノコンサートでは利用者さんの妹さん、弟さんが、鍵盤ハーモニカを使い、皆の馴染み深い「かえるのうた」、「きらきらぼし」、「思いでのアルバム」など、沢山の曲を弾いてくれました。皆さんが知っている歌なので、一緒に歌ったり手拍子をしたりと盛り上がりつつありました。アンコールではお母さんのサプライズで「翼を下さい」を披露して下さいました。

保護者の方に行事に参加いただくことは良くある事ですが、今回のようにごきょうだいが行事に参加して下さる機会が少なく、ごきょうだいが行事に参加して下さるといふ事はとても意味があります。今後、家族の中で障がいのあるきょうだいについてどのように考え、関わっていくのかをきょうだいの視点から考える事のできる良い機会になったと思います。



で、頑張ろうと思つて「やります」と答えました。家ではたくさん練習して間違いなく弾けていたのに、本番では少しだけ間違つてしまつて、ちよつと悔しかったです。でも、皆と一緒に歌をうたつてくれたので、すごく楽しかったです。ありがとうございます。来年は、また違う曲で、上手に弾きたいです。来年も頑張ります。

姉、弟より

共有出来る事が有り難く、何より皆さんの良い笑顔が見られた事がとても嬉しかったです。今後も楽しいコンサートを開催していきたいと思えます。今回ご協力いただいた利用者家族の皆さん、本当にありがとうございます！また是非いらして下さい。

・・・発表会の感想・・・

母より

「発表会をやってくれる？」と聞かれた時はドキドキしましたが初めての発表会なの

ご家族の方にひらのに来ていただき、楽しい時間を皆で

ただくことは良くある事ですが、今回のようにごきょうだいが行事に参加して下さる

機会が少なく、ごきょうだいが行事に参加して下さるといふ事はとても意味があります。今後、家族の中で障がいのあるきょうだいについてどのように考え、関わっていくのかをきょうだいの視点から考える事のできる良い機会になったと思います。

「発表会をやってくれる？」と聞かれた時はドキドキしましたが初めての発表会なの

母より

# 働くっていいな～



納品先に到着。



重いけど、  
頑張ってます。



最後に、社長さんに挨拶を  
して、事業所へ帰ります。



次の作業をリフト車へ  
運び込む、利用所さん



## 納品風景

〜テキパキと〜

自分が何かしたことで誰かに『喜んでもらえる』何かの『役にたっている』と感じることは、その人にとって『やりがい』や、『自信』といった生活していくうえでの活力

につながるのではないでしょうか？障がいがあったとして社会、地域の一員として社会参加していくことは大切なことです。今回は、作業活動で出会った大和公業さんとのつ

ながりを通した『働く』をご紹介します。大和公業さんは10年以上前から100円均一で販売している商品の組み立て作業（私たちはボトルチューブ・「みかんちぎり」と呼んでいます。）を頂いて、ひらのと第二ひらので取り組んでいます。

# 球場の雰囲気を感じながら

ヘルパー日誌



この記事を書いている時期は少し涼しく過ぎしやすくなってきたのですが、今年の夏は例年より暑かった事もあり、利用者さんやご家族さんと外出先について話し合う事が多かったです。幸いにも皆さんしっかりと対応策を取っていただけた事もあり、支援中に熱中症等にかかる事がなかったので良かったです。

記事の内容は暑さとは関係なく、利用者さんと一緒に熱くなった、八月中旬に野球好きの利用者さんと野球観戦に出かけた時の話です。

朝から普段着ている服の上から球場で着る予定のユニフォームをもう着ていたりと野球観戦を楽しみにしている様子。

普段はテレビでの観戦でセリーグ中心に見ているので、今回身に行ったパリーグの選手は知らない選手が多かったようです。

またいつものテレビ観戦ではないので少し戸惑った様子も。それでも試合が進むにつれて、いいプレーには声を出したり拍手をしたり、身を乗り出して見ているなど、観戦を楽しまれました。試合は延長に入り、最後はビデオ判定。応援していたチームの勝利の瞬間は、ガッツポーズを決め、帰りの電車では、い

い試合が見れて良かったのか満足げな表情で試合内容について話していました。

テレビ観戦が好きな利用者さんですが、今回の支援では球場の雰囲気や試合が始まるまでのドキドキ感、試合後の高揚感など普段のテレビ観戦では味わえない物を感じれたのが良かったようです。

ヘルパーとしてもいつもとは違った様子の利用者さんを見る事ができて良かったです。



## ～皆様からの寄贈～

毎月第三金曜日に社会福祉法人藍くれよんのスペースを利用して開催されている「にしいちカフェ」にお越しになられる地域の方が、事業所で飼育している亀を見て、亀の餌を寄贈してくださいました。亀もどんどん大きくなっていて、頂いた新しい餌にとでも気に入って食いついていました。ありがとうございました！

また、利用者ご家族や近隣の方からは度々文房具など様々な寄付を頂いており、災害時に使える充電器や懐中電灯、ラジオなどがひとつになっている防災グッズも頂きました。地震や台風などの災害が増えている中、各事業所に配布し防災バックなどと一緒に万が一に備えておきたいと思います。

皆様からの寄付に感謝申し上げます！！

## 編集後記

今年は、大阪に大型台風が上陸し、事業所の周りも色々な物が暴風に飛ばされ、自然の怖さを身を持って実感した夏でした。今回の季刊誌を呼んでいただいて、暑さ・災害を吹き飛ばすぐらい、元気に楽しく過ごされている様子をお伝えできていれば嬉しいです。

広報委員 山本